

科目名	リスクマネジメント Risk Management		選択	2 単位
学期・曜日・時限	春・土・集中※	-	-	-
担当教員名	加藤 晃	e-mail		
<p>&lt;講義の概要と目的&gt;</p> <p>ビジネスにおけるリスク概念を正しく理解し、リスクマネジメント（以下、RM）をリスクコントロールとリスクファイナンスの視点で分析します。日本では、リスク≒危険・不確実性・好ましくないものとの認識が一般的ですが、経営においてリスクは無くすものではなく、想定内にコントロールすることが重要です。すなわち、「リスクと機会はコインの裏表」の関係にあり、リスクを取らなければ収益は得られません。授業では、CFOの視点でリスクマネジメント手法を評価し、理論に実例を踏まえて講義を行います。経営におけるリスクを理解することを目的とします。</p> <p>&lt;到達目標&gt;</p> <p>リスクマネジメントの考え方・アプローチを理解して、実務で使えるようになる。</p> <p>&lt;アクティブ・ラーニング要素&gt;</p> <p>シミュレーション体験、演習、ディスカッションなどを通して授業をアクティブに行います。 (第5回、第9回、第10回、第14回、第15回を予定)</p>				
<p>&lt;講義計画&gt;</p> <p>1 回目： リスクとリスクマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要点：経営におけるリスクとは何か、リスクマネジメントの基礎</li> </ul> <p>2 回目： 経営財務と RM</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要点：RM が財務・会計に与える影響</li> </ul> <p>3 回目： リスクの認識と測定、リスク回避と RM</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要点：RM のプロセス、リスクマップを使えるようにする</li> </ul> <p>4 回目： ステークホルダーと RM、ロス・コントロール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要点：ステークホルダーとの関係、</li> </ul> <p>5 回目： リスク分析の演習、契約条項と法理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要点：PC によるデータ分析、保険の活用</li> </ul> <p>6 回目： 企業リスクの実際（1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要点：信用リスクと戦略リスク、オペレーションリスク</li> </ul> <p>7 回目： 企業リスクの実際（2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要点：イベントリス、役員リスク</li> </ul> <p>8 回目： 企業分析（1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要点：ケース：電気設備業界、中間テスト</li> </ul> <p>9 回目： 企業分析（2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要点：有価証券報告書を使つての演習とディスカッション</li> </ul> <p>10 回目： 最近の話題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要点：ワークショップ（セクハラ・パワハラを予定）</li> </ul> <p>11 回目： 同上、中間テストの解答と解説</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要点：同上、テスト解説を通してのポイントの学生グループによる研究発表総復習</li> </ul>				

12 回目：学生グループによる研究発表（1）

- ・要点：実際にある企業を分析、リスクマネジャーの視点で提言を行う。

13 回目：学生グループによる研究発表（2）

- ・要点：同上

14 回目：危機管理シミュレーション

- ・要点：危機管理、事件の発生

15 回目：危機管理シミュレーション

- ・要点：事件の進展、解決、事後対応

<講義の進め方>

教科書を中心に、講義、演習、ディスカッション、シミュレーションを行います。

<事前事後学習内容>

1 回目：教科書 第 2 章、Part III RM は義務か？

2 回目：教科書 第 1 章、第 3 章

3 回目：別途指示

4 回目：教科書 第 6 章

5 回目：別途指示

6 回目：教科書 第 8 章、第 9 章

7 回目：教科書 第 10 章、第 11 章

8 回目：教科書 第 7 章、PARTIII ケース：電気設備業界

9 回目：別途指示

10 回目：別途指示

11 回目：別途指示

12 回目：グループ発表の準備

13 回目：グループ発表の準備

14 回目：教科書 P.138～143

15 回目：別途指示

<予習・復習時間>

各回の予習・復習にはそれぞれ 2 時間相当かかると想定され、詳細については講義時に指示をします。

<教科書及び教材>

加藤晃 (2018) 『CFO 視点で考えるリスクファイナンス』 保険毎日新聞社 2,700 円＋税

※初回の講義が始まる前までに各自購入をしておくこと。

<参考書>

ハリントン&ニーハウス (2005) 『保険とリスクマネジメント』 東洋経済新報社 6,000 円＋税

<成績評価方法>

欠席 6 回以上は成績評価しない。

中間テスト 30%、グループによる研究発表（期末試験） 50%、授業貢献度 20%

<課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法>

中間テスト 1 回、定期試験はグループによる研究発表（PPT 提出）

<p>&lt;履修条件&gt; 特になし。</p>
<p>&lt;DVDによる視聴&gt; 可</p>
<p>&lt;オフィスアワー&gt; 非常勤ですので、メールで随時受け付けます。</p>
<p>&lt;その他&gt; 集中講義2日目は演習を行いますので、PCを用意して下さい。</p>

※6月 1日(土) 1限、2限、3限、4限

6月 15日(土) 2限、3限、4限

6月 29日(土) 1限、2限、3限、4限

7月 6日(土) 1限、2限、3限、4限